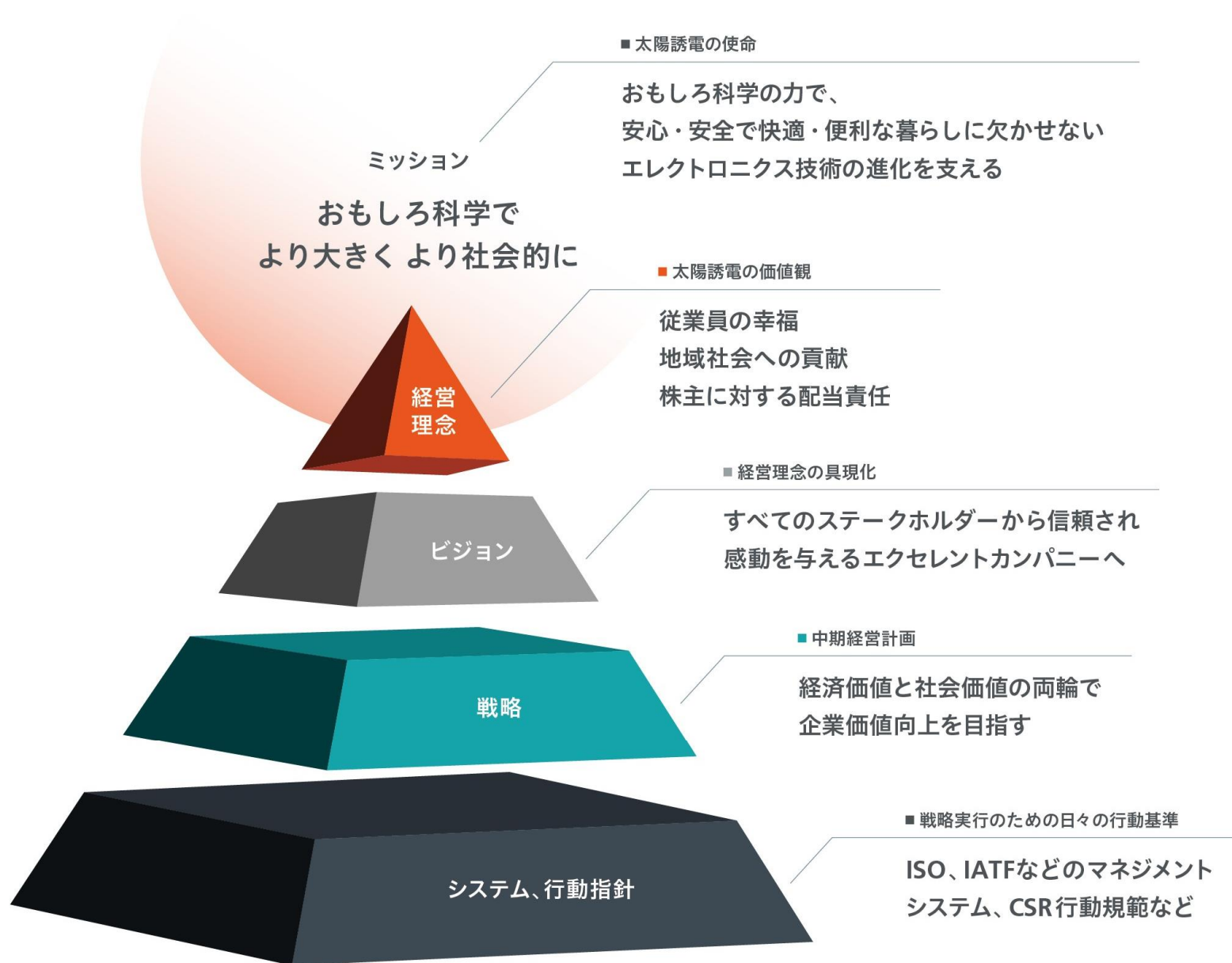


経営方針

2024年5月8日











太陽誘電株式会社
代表取締役社長執行役員
佐瀬 克也

太陽誘電グループが目指すもの



中期経営計画2025 (2021～2025年度)

中期経営計画2025 マテリアリティ

分類	マテリアリティ	SDGs目標
経済価値	<ul style="list-style-type: none"> •基幹事業成長のためのコア技術の強化 •社会課題解決のためのソリューション創出 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくらう</p>  </div> </div>
社会価値 E 環境	<ul style="list-style-type: none"> •気候変動への対応強化 •資源の有効活用と循環型社会構築への貢献 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>6 安全な水とトイレ を世界中に</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>  </div> </div>
社会価値 S 社会	<ul style="list-style-type: none"> •安全第一な職場で健康経営と働き方改革を実現 •ダイバーシティを基盤とした人材の開発と育成 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>3 すべての人に 健康と福祉を</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>5 ジェンダー平等を 実現しよう</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>8 働きがいも 経済成長も</p>  </div> </div>
社会価値 G ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> •事業の成長を支える経営品質の向上 •災害や感染症に対するBCM構築と進化 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>16 平和と公正を すべての人に</p>  </div> </div>

経済価値と社会価値を両輪とした企業価値向上を目指す

1

商品戦略

積層セラミックコンデンサ（MLCC）のさらなる成長に加え、インダクタと通信デバイスを強化し、コア事業として確立

- ハイエンド商品、高信頼性商品を中心とした高付加価値な電子部品を創出

2

市場戦略

注力すべき市場（自動車＋情報インフラ・産業機器）の売上比率を50%へ

3

財務戦略

1. 電子部品の需要拡大に対応するため、継続的な能力増強を実施
2. 株主還元の充実、安定的な配当性向30%実現へ

4

ESGへの取組み

数値目標を掲げて取り組みを加速、社会価値向上へ

- (E)気候変動への対応、(S)安全第一で健康経営と働き方改革、(G)経営品質の向上

中期経営計画2025 経営指標

企業価値（経済価値＋社会価値）

経済価値

売上高

4,800億円

営業利益率

15%以上

ROE

15%以上

ROIC

10%以上

社会価値

E

GHG排出量

絶対量

2030年度 42%削減

※2020年度比

E

廃棄物
水使用量

原単位（生産高）

2025年度 10%削減

※2020年度比

S

安心安全な職場
拠点機能最適化

・安全性・快適性・環境性能を
兼ね備えた職場作り

・傷病率<0.016

・度数率<0.08

S

働き方改革
ダイバーシティ

・ワークエンゲージメント2.5以上

・新卒女性採用率 30%以上

・女性管理職比率

2030年度 10%以上

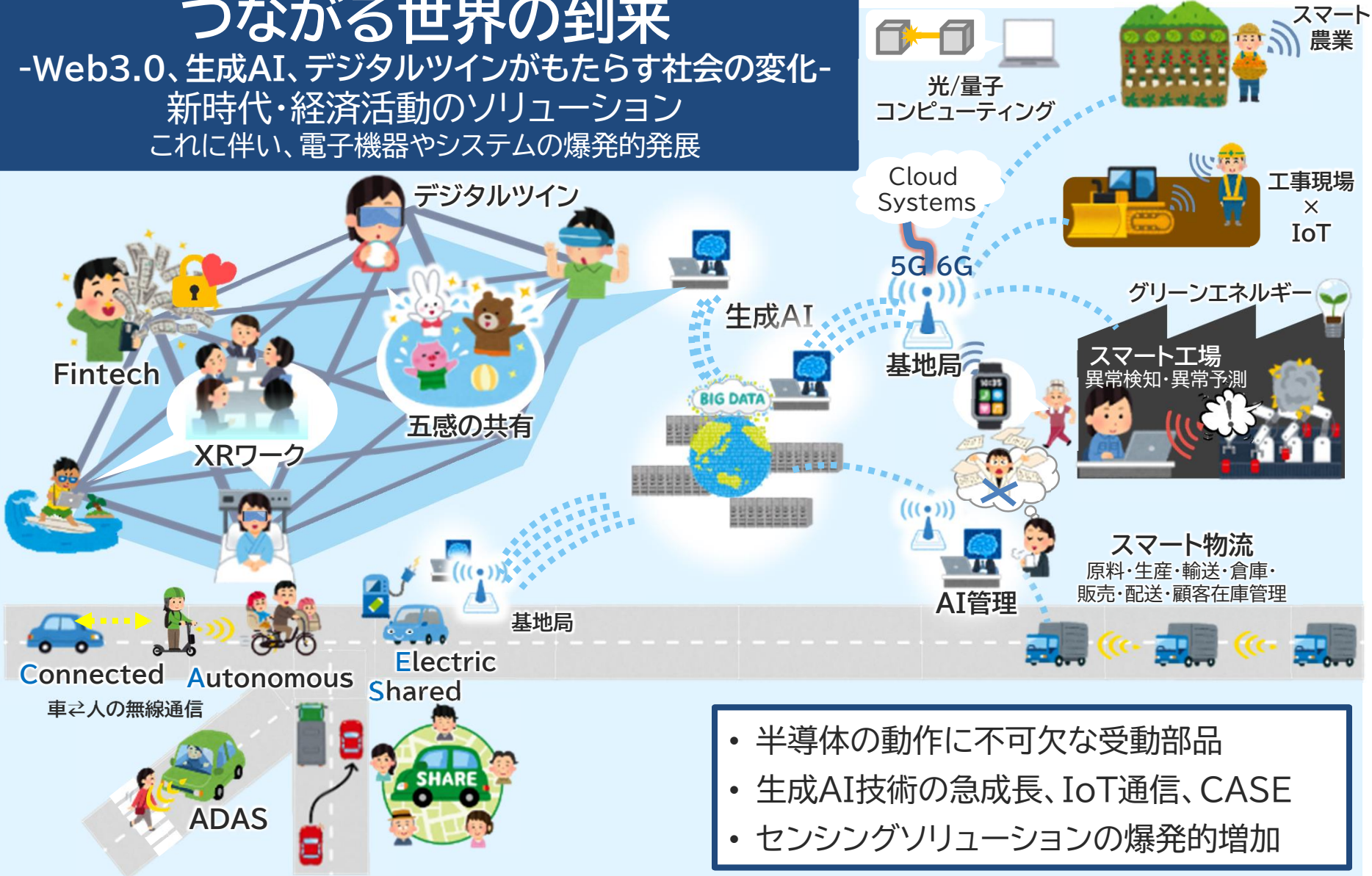
※為替前提：1US\$=¥105

経済価値の向上

太陽誘電が想像する将来の社会 ~2025-2030年へ向けて~

つながる世界の到来

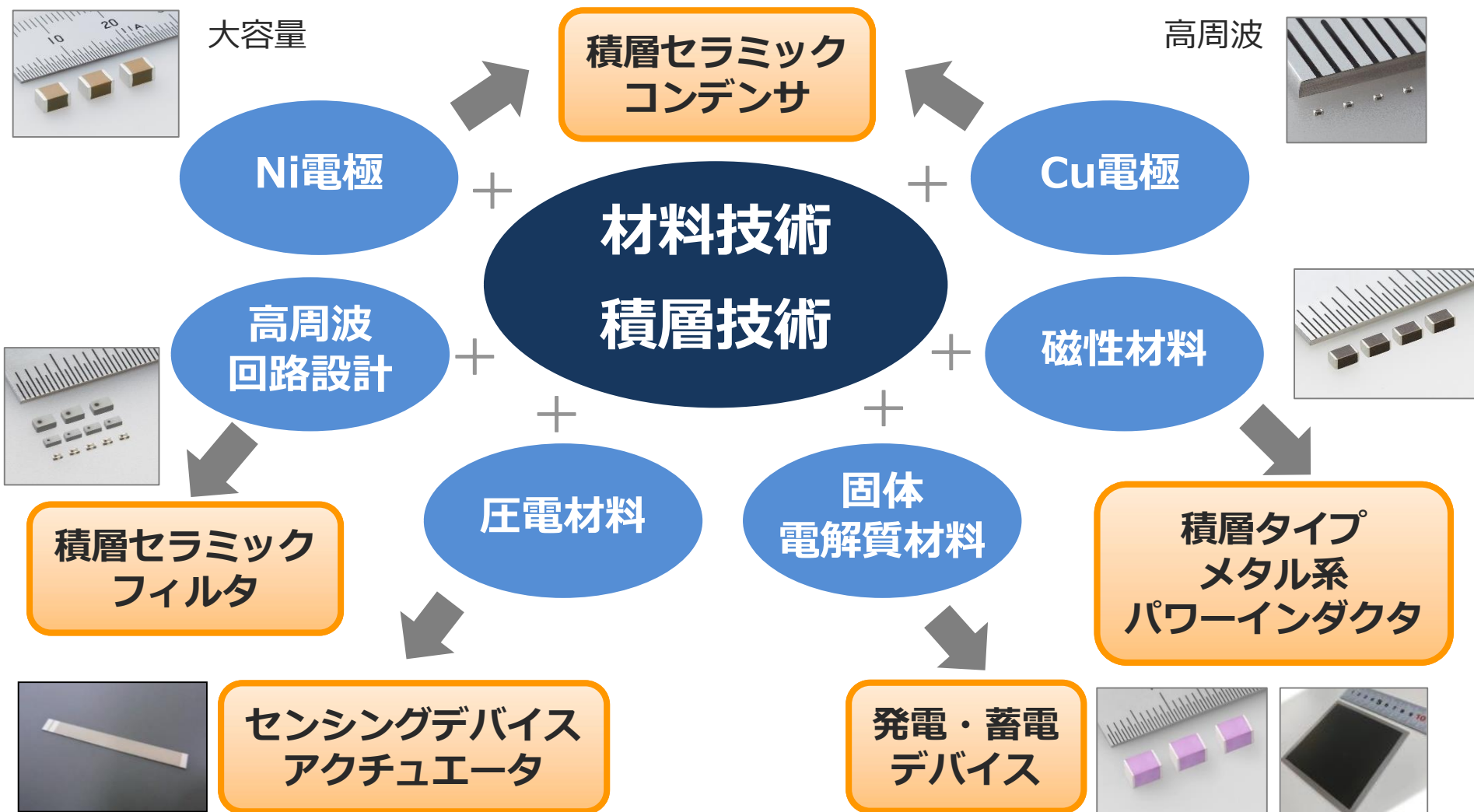
-Web3.0、生成AI、デジタルツインがもたらす社会の変化-
新時代・経済活動のソリューション
これに伴い、電子機器やシステムの爆発的発展



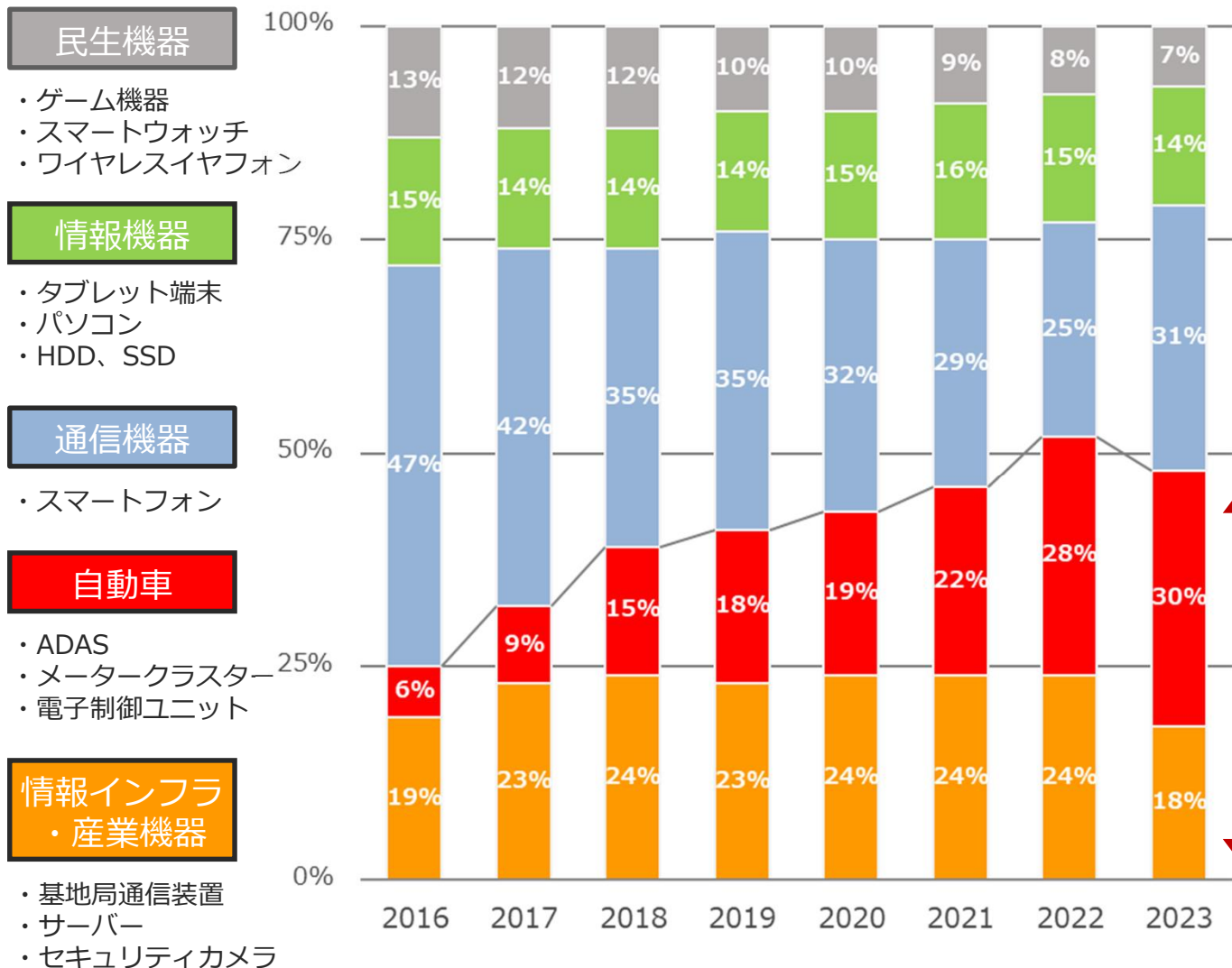
- 半導体の動作に不可欠な受動部品
- 生成AI技術の急成長、IoT通信、CASE
- センシングソリューションの爆発的増加

材料技術、積層技術を中心とした商品展開

卓越した技術力を駆使し、5G、自動車電装化などの
技術進化を支えるハイエンド電子部品を供給



用途分野別売上構成



ターゲット

注力すべき市場

50%

自動車 25%
情報インフラ・
産業機器 25%

▶ 成長市場の
売上比率拡大

注力すべき
市場

48%

※当社推計値

製品戦略：積層セラミックコンデンサ（MLCC）

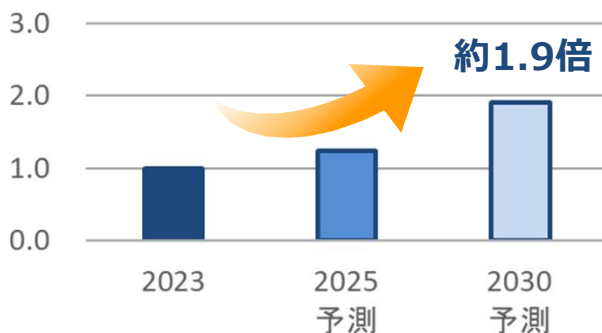
業界トップクラスの技術力を活かし、高付加価値ゾーンに注力

■ 高信頼性品・大型形状品の商品力強化

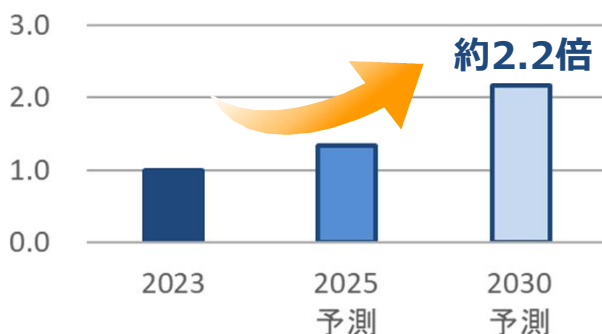
- 自動車、情報インフラ・産業機器のニーズにマッチした商品展開

MLCC需要予測（数量ベース）

自動車向け



サーバー向け



※当社予測

■ 中期需要に対応した能力増強

- 2023年度、中国とマレーシアの新工場が竣工し、稼働スタート
- 高信頼性品・大型形状品を中心に供給力拡大



中国
太陽誘電（常州）



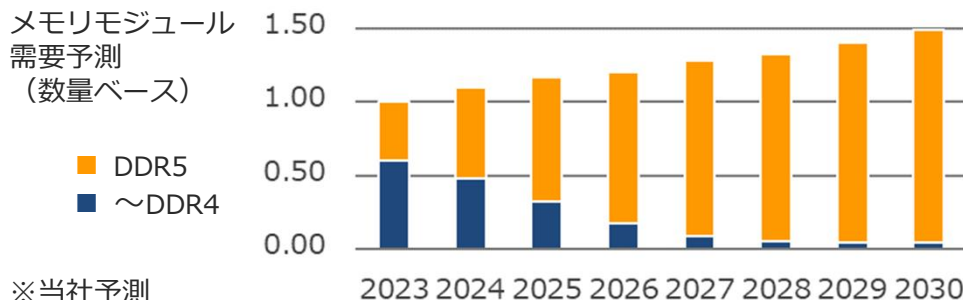
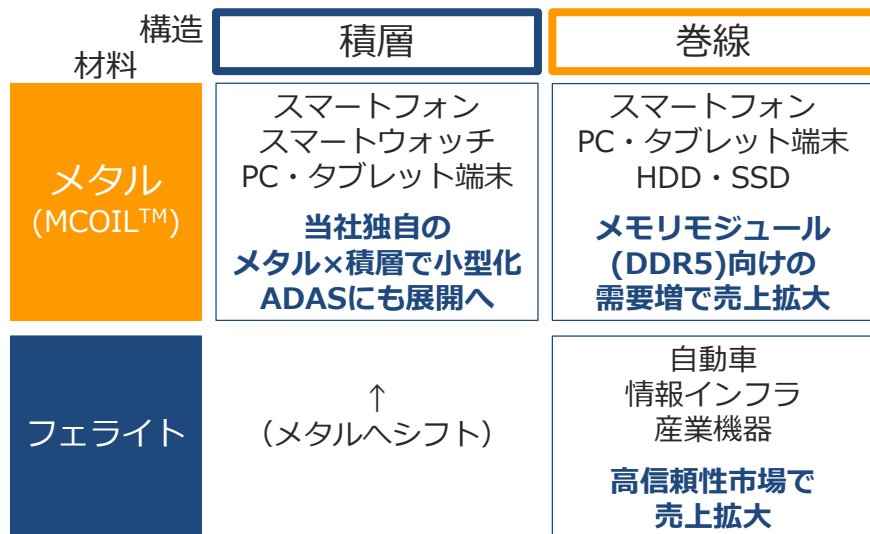
マレーシア
TAIYO YUDEN (SARAWAK)

製品戦略：インダクタ

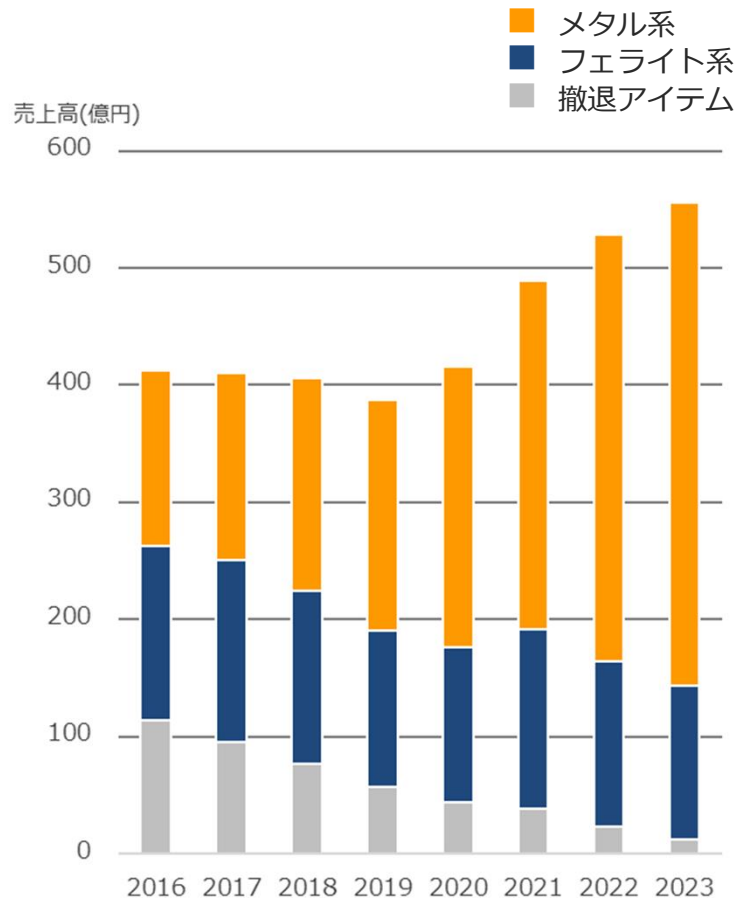
パワーインダクタで競争優位性発揮、ミックス改善で収益性向上

■ 高度な要素技術を組み合わせた パワーインダクタを豊富にラインアップ

スマホに加え、IoT、自動車、情報インフラ・産業機器への展開で市場と顧客を多様化



■ アイテムミックスを改善し、 高収益体質へシフト



※「MCOIL」は日本およびその他の国における
太陽誘電株式会社の登録商標または商標です。

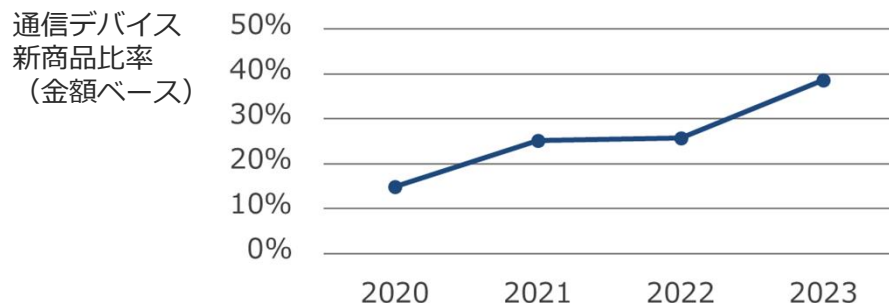
独自技術を極め、高付加価値ビジネスを追求

■ 新技術「TLSAW™」「HPDP」

機器の進化に不可欠な高水準技術ニーズを満たす

- ・ **TLSAW™**（素子技術）…低ロス、広帯域、高抑圧
—量産中、ラインアップ拡充
- ・ **HPDP**（パッケージ技術）…超低背、高信頼性
—独自金属封止で高耐電力、高集積化を実現

■ 新技術の展開により、新商品比率が向上



■ 高付加価値商品の提供と新市場への展開

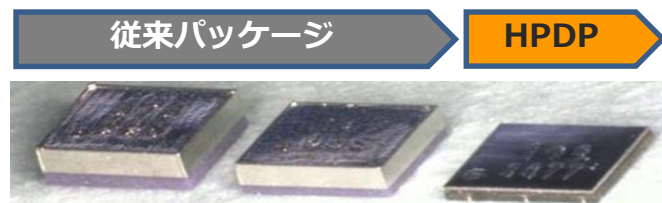
小型化・薄型化・高集積化の要求に応え、スマートフォン市場をベースに、テレマティクス、M2M、IoT、基地局向けにビジネスを拡大

※「TLSAW」は日本およびその他の国における太陽誘電株式会社の登録商標または商標です。

※製品区分：複合デバイス

上段：サイズ(mm)、下段：高さ(mm)
 ディスクリート用途 モジュール用途 【サンプル】高密度モジュール用途

集積化 ↑	4 Quad	2520 0.8	TLSAW™ 2016 0.35	TLSAW™ 1814 0.15 HPDP
	2 Dual	1814 0.5	TLSAW™ 1612 0.35	TLSAW™ 1612 0.25
	1 Single	1109 0.5	TLSAW™ 0907 0.35	TLSAW™ 0806 0.25
		→ 小型低背化		

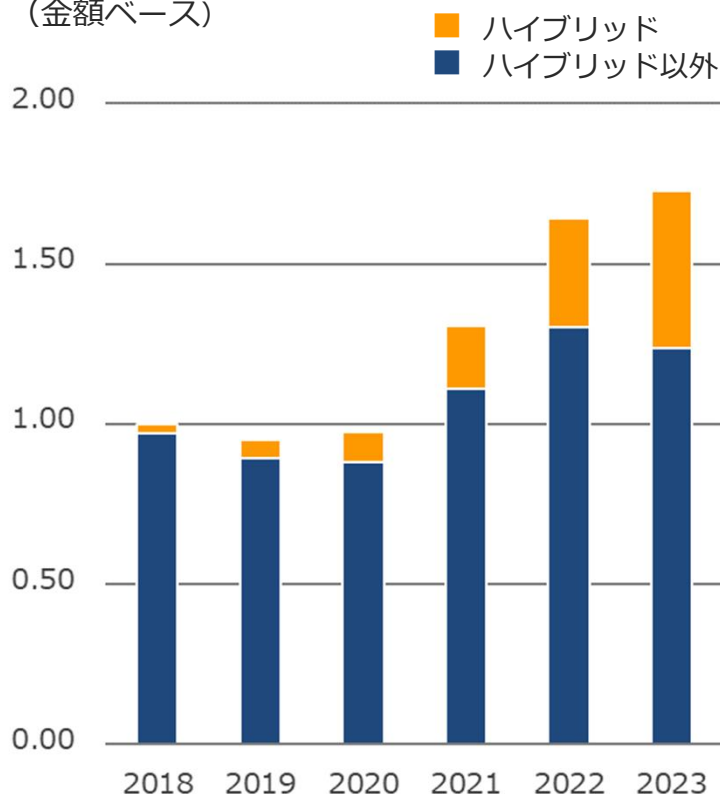


自動車を中心とした高付加価値市場で販売拡大

※製品区分：その他

■ 高性能な導電性高分子ハイブリッドアルミニウム電解コンデンサに注力、収益性が改善

アルミニウム電解コンデンサ売上推移
(金額ベース)



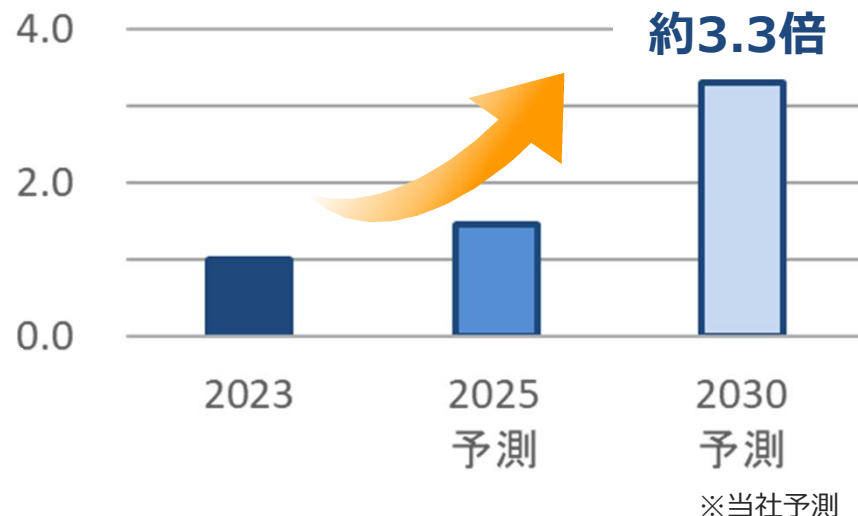
ELNA



■ 能力増強で自動車向け需要拡大に対応

- xEV化、パワートレイン電動化、ADAS高度化などにより自動車向け需要が急速に拡大
- 開発から生産まで、効率的な国内一貫体制を構築し、生産能力を増強

導電性高分子ハイブリッドアルミニウム電解コンデンサ需要予測 (数量ベース)



当社の独自技術と社外の技術リソースを融合し、 社会課題解決型ソリューションを創出

スマートモビリティで
脱炭素社会の実現へ

回生電動アシスト
システム
(電動アシスト自転車向け)

 **FEREMO™**
(フェリモ)

1回の充電で
最大1,000km (注1) の
長距離走行が可能



防災・減災で
暮らしを守る


河川モニタリング
システム

IoTで安全・安心、
快適・便利な社会を

IoTエンジン
「soliot™」
(例：ワンコイン浸水センサ)

効率的な
社会インフラの構築

セルラーLPWA
モジュール
(例：スマートメーター)

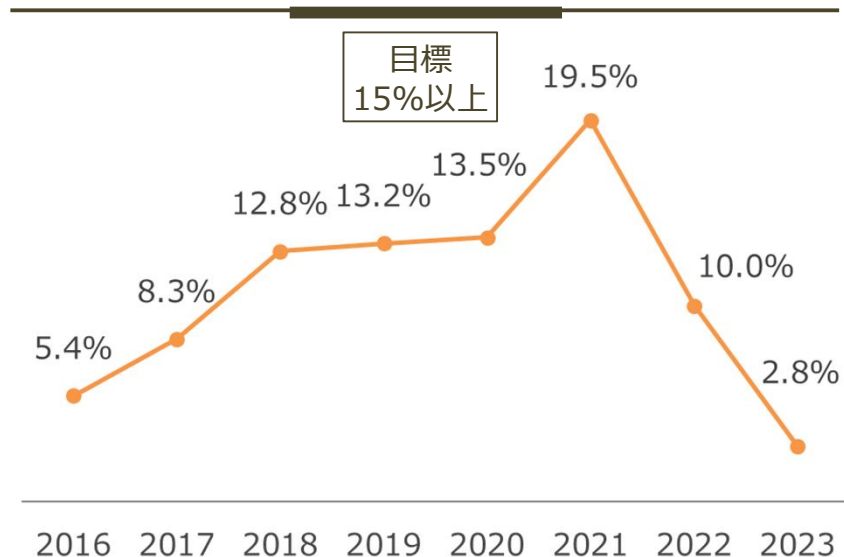
注1：試作車のJIS規格 (JIS D9115:2018) による測定パターンによる (エコモード1000km、ミドルモード200km、ハイモード100km)。
※「FEREMO」、「」、「soliot」は、日本における太陽誘電株式会社の登録商標または商標です。

経営指標推移（経済価値）

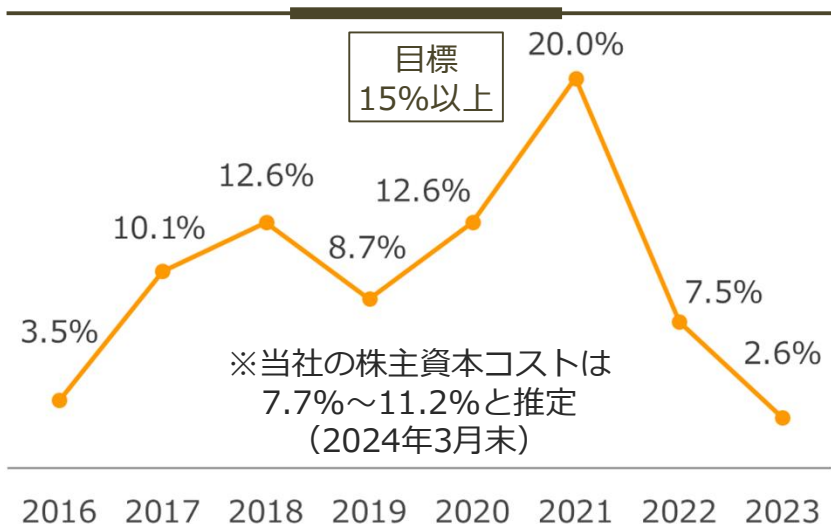
売上高



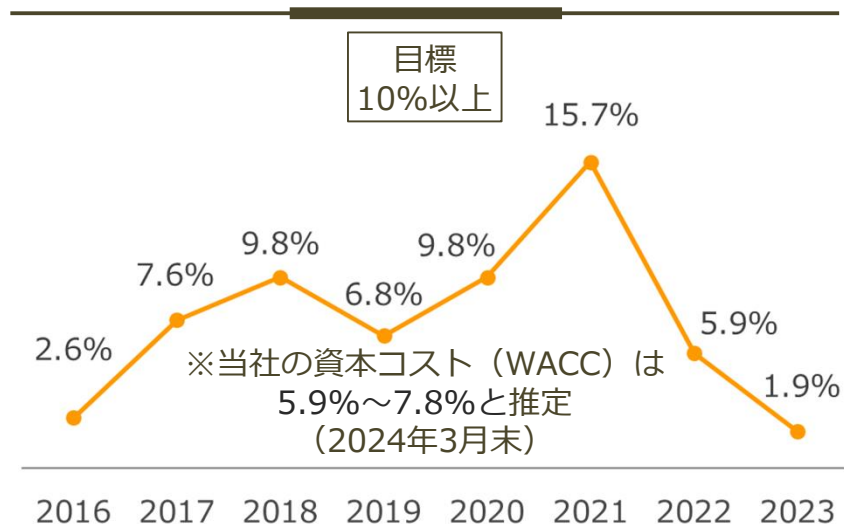
営業利益率



ROE



ROIC



社会価値の向上

GHG排出量

■ 国内3拠点*の使用電力を100%再エネに

敷地内に太陽光発電設備を設置、創エネと再生可能エネルギー由来電力への切り替えによって使用電力を100%再エネに転換



- ・2024年度～：R&Dセンター
サンヴァーテックス
- 2025年度～：高崎グローバルセンター

R&Dセンター（群馬県高崎市）

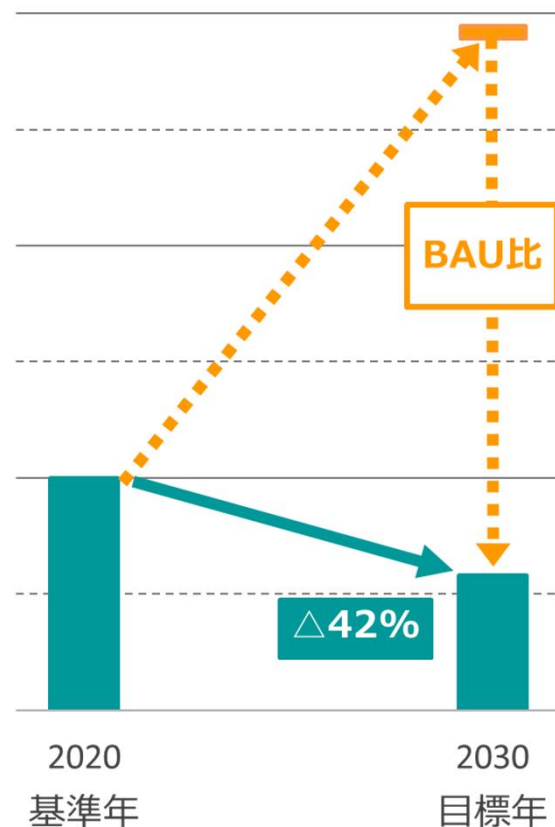
■ 「CDP気候変動」Aリスト企業、「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に2年連続で選定

国際環境非営利団体のCDPから、省エネ・創エネ・再エネの取組みやTCFDに基づく気候変動対応、サプライヤーとの協働が高く評価される



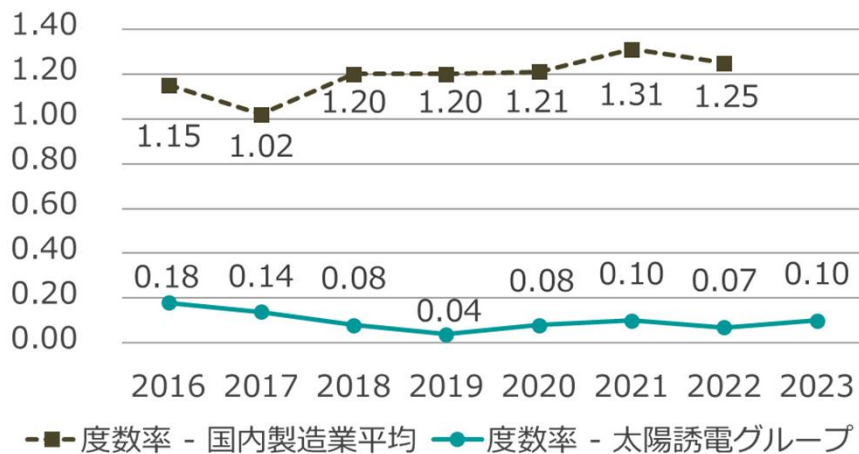
GHG排出量42%削減へ（絶対量）

BAU（自然体）ケースでは、生産増により約3倍に



安心安全な職場

■ 製造業トップクラスの安全な職場環境



$$\text{度数率} = \frac{\text{労働災害による被災者数[休業1日以上]}}{\text{在籍労働者の延べ実労働時間数}} \times \text{百万}$$

■ 「5M」で安心して働ける職場を追求

- Man** 基礎教育の徹底と「安全行動意識」の醸成
- Machine** 設計者の設備安全設計水準アップ
- Method** バラツキのない安全作業
- Material** 化学物質の有害性/危険性の最小化
- Measurement** チェック水準の深化

働き方改革・ダイバーシティ

■ 5つの指標に着目し、健康経営を推進



■ ダイバーシティ推進室を新設

ジェンダー 2025年度までを女性活躍推進の意識醸成期とし、階層別ダイバーシティ研修や社員交流会、イベントなどを開催。多様な人材が活躍できる環境整備や育休取得促進、キャリアアップ支援を継続。

障がい者雇用 オフィス内に、障がい者雇用と従業員の福利厚生充実を目的としたカフェ・ベーカリーをオープン。

ワークエンゲージメント向上

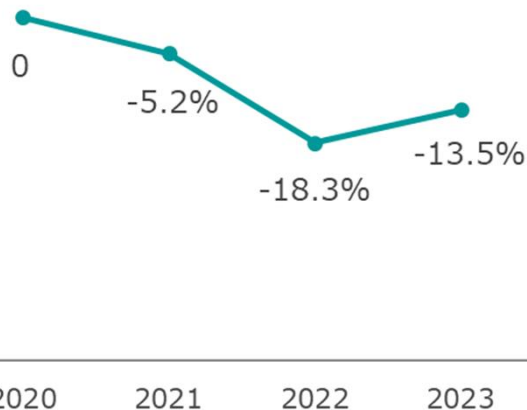
従業員が仕事を通して活力を得て、健康でいきいきと能力を発揮する企業へ

経営指標推移 (社会価値)

*4月1日時点

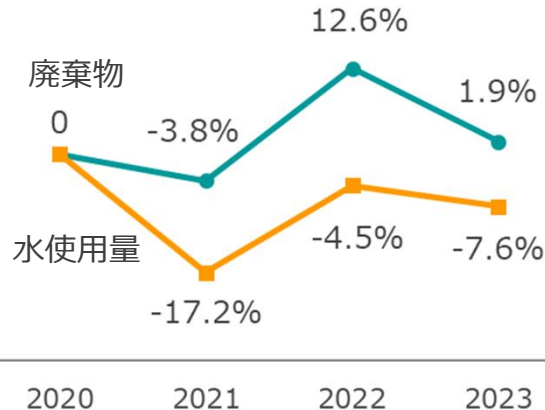
GHG排出量

2030年度目標 (単年)
絶対量 42%削減
-4.2%相当)



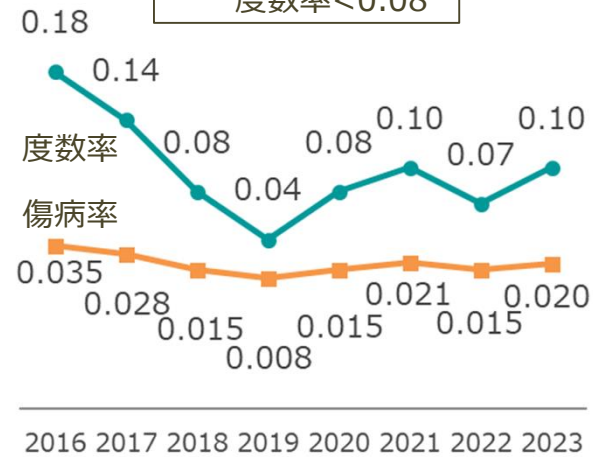
廃棄物・水使用量

2025年度目標 (単年)
原単位 10%削減
-2.0%相当)



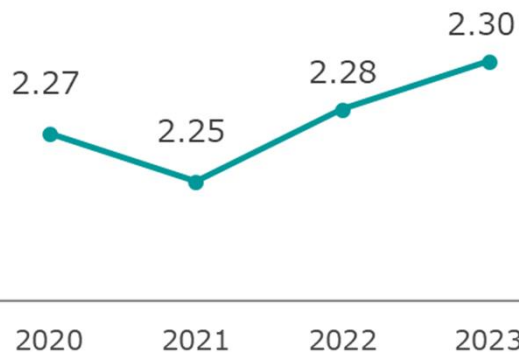
傷病率・度数率

目標 傷病率<0.016
度数率<0.08



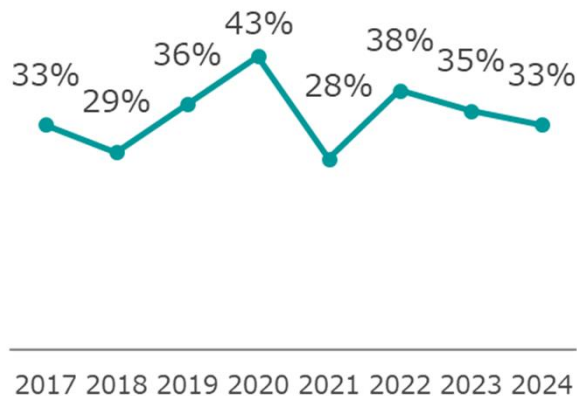
ワークエンゲージメント

目標
2.5以上



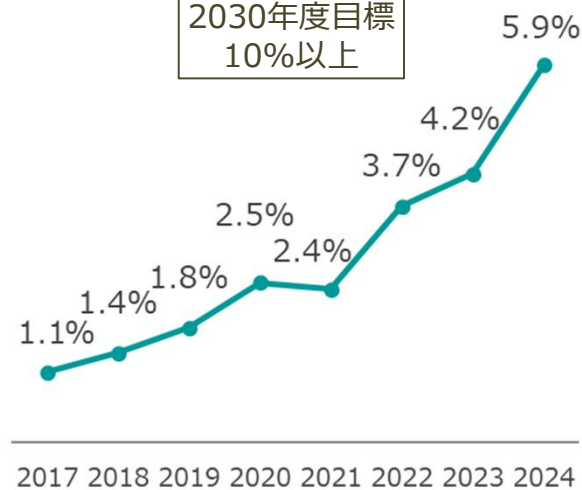
新卒女性採用率*

目標
30%以上



女性管理職比率*

2030年度目標
10%以上

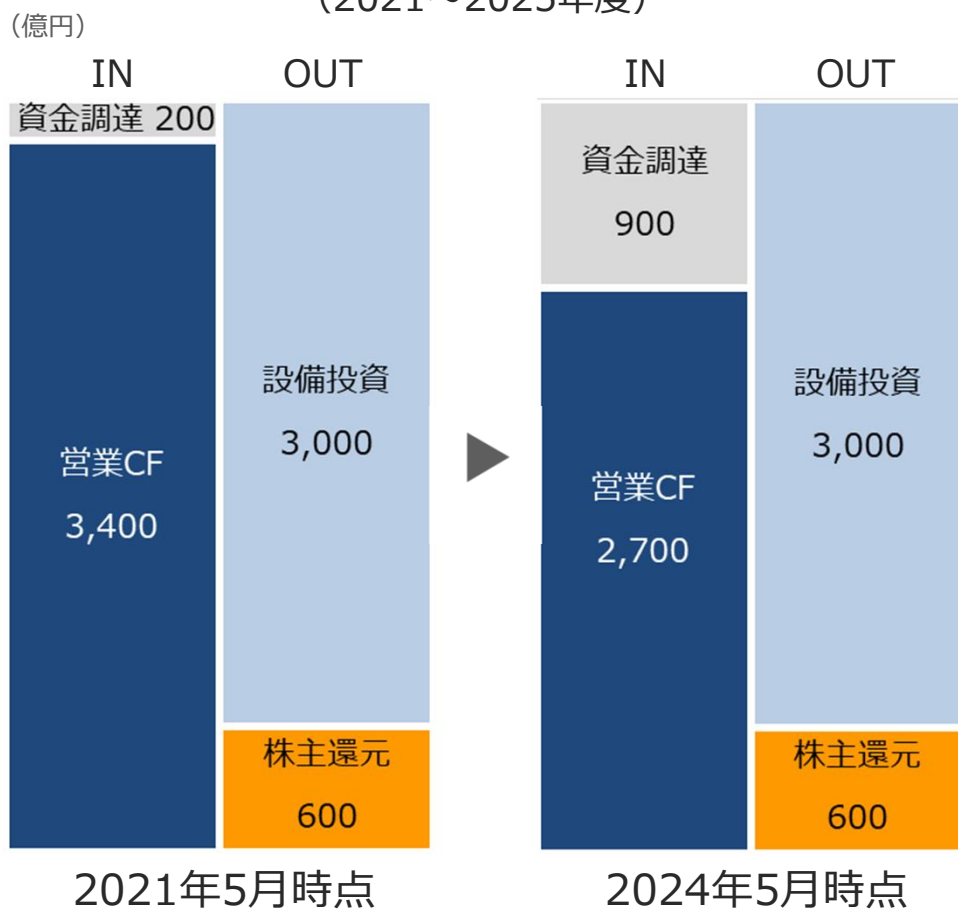


キャピタル・アロケーション

電子部品の需要拡大に対応するため、 5年間累計で3,000億円の設備投資を計画

中期経営計画2025

(2021～2025年度)



資金調達

- 転換社債型新株予約権付社債を発行し、500億円を調達（2023年10月）

設備投資計画

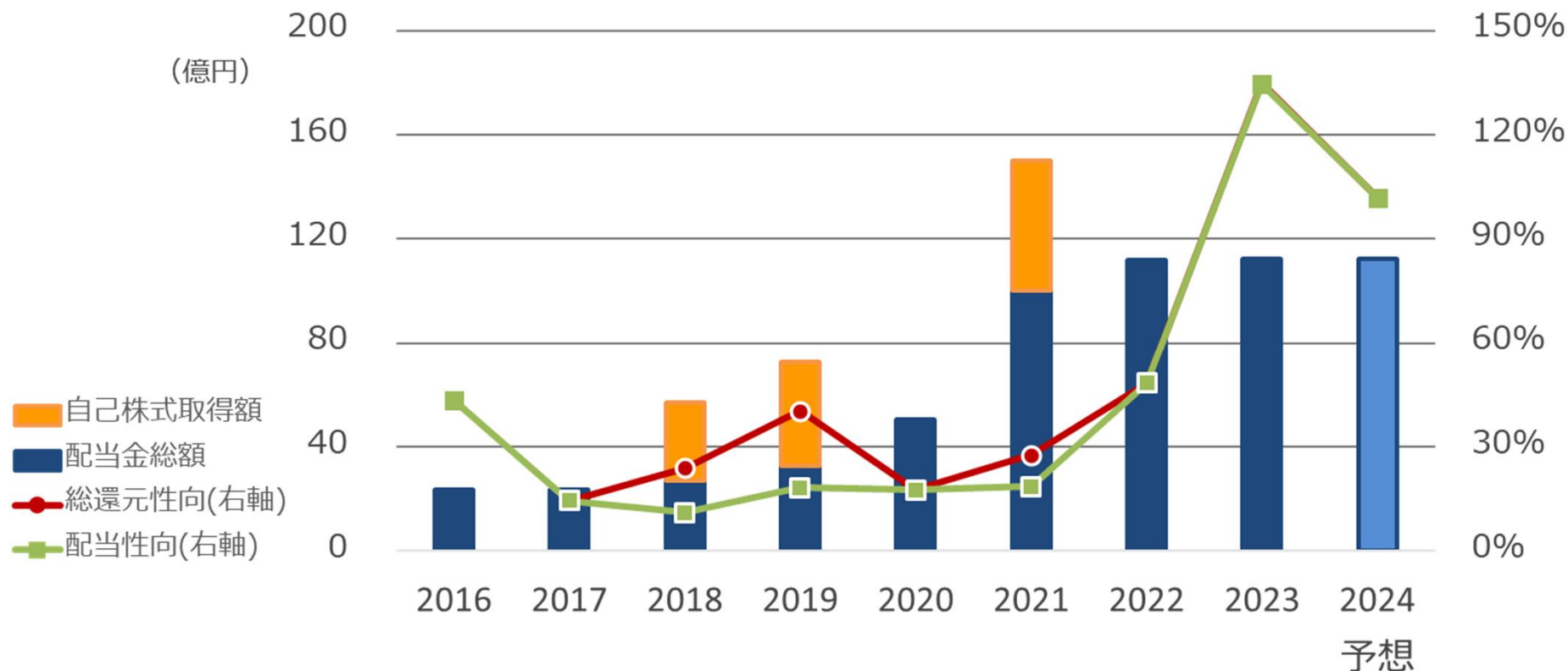
- MLCCに重点投資、毎年10～15%の能力増強を予定（設備負荷ベース）
- メタル系パワーインダクタ、導電性高分子ハイブリッドアルミニウム電解コンデンサの能力増強
- 環境対策投資やIT投資、安全で快適な職場づくりのための投資（投資額のうち10%程度）

株主還元方針

- 安定的な配当性向30%の実現
- 必要に応じ、自己株式の取得を実施

株主還元方針

中期目標として、安定的な配当性向30%の実現を目指す
必要に応じて、自己株式の取得を実施



1株当たり年間配当金(円)	20	20	21	26	40	80	90	90	90
1株当たり当期純利益(円)	46.08	138.80	189.93	143.04	227.99	433.46	186.32	66.75	88.26

当資料に記載されている、当社（太陽誘電株式会社、および当社グループ）に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

TAIYO YUDEN